



団体戦小学低学年の部優勝・日南剣道A



団体戦小学高学年の部優勝・神武館第一



団体戦中学生の部優勝・神武館第一



団体戦中学生女子の部優勝・朱雀館A



団体戦高校の部優勝・日章学園高校C

東京 第11回JPGグループ 少年少女剣道大会

令和7年2月9日(日) 中央郵政研修センター体育館 主催：東京郵政剣道部 資料提供：住吉勇樹(東京郵政剣道部)

JPGグループ社員剣士が指導する道場の交流試合として開催されている本大会。小規模ながら個人戦、団体戦ともにリーグ戦を行ない、勝ち上がった選手、チームによる熱戦が繰り広げられた。小学1年〜2年の部は5人での決勝リーグが行なわれた。そのなかで1年生の井村選手(川崎御幸剣友会)が全勝優勝を遂げた。準優勝は木村選手(川崎御幸)、3位

に工藤選手(小金井市剣道連盟)が入った。井村選手以外は全員2年生の中、3勝を二本勝ちしており、井村選手の強さが光った。小学3年〜4年の部の3位決定戦は澤井選手(西菅田剣友会)と田邊選手(川崎御幸)が対戦し、澤井選手がコテを決め3位。決勝戦は前年度優勝の今井選手と古泉選手(ともに西菅田)が対戦し、今井が見事2連覇。上位3名を西菅田剣友会が独占した。小学5年〜6年の部の3位決定戦は辻選手(小金井)と鎌田選手(桜剣友会)が対戦し、辻選手がコテを奪い勝利した。決勝戦は今井選手(西菅田)と新貝選手(江少剣)が対戦し今井選手が勝利を収め、小学3〜4年の部で優勝した弟とともに兄弟優勝となった。中学女子の3位決定戦は庄嶋選手(川崎御幸)と八木選手(小金井)

が対戦し、庄嶋選手が見事二本勝ちを収めた。決勝戦は茂木選手(西菅田)と岸本選手(川崎御幸)と1年生同士の対戦となり、茂木選手がコテを決めた。中学男子の3位決定戦は滝澤選手(青梅中央道場)と松本選手(西菅田)が対戦し、滝澤選手が勝利。決勝戦は高橋選手(川崎御幸)と竹下選手(三鷹宗武館)が対戦し、高橋選手がコテによる一本勝ちを収めた。団体戦。小学生低学年(3年以下)は3位決定戦で小金井市剣道

個人戦小学1〜2年生の部 優勝・井村 陽(川崎御幸剣友会) 2位・木村 秀真(川崎御幸剣友会) 3位・工藤 総真(小金井市剣道連盟)



個人戦小学1〜2年生の部 優勝・井村 陽(川崎御幸剣友会) 2位・木村 秀真(川崎御幸剣友会) 3位・工藤 総真(小金井市剣道連盟)

個人戦小学3〜4年生の部 優勝・今井 陽飛(西菅田剣友会) 2位・古泉 明利(西菅田剣友会) 3位・澤井 めい(西菅田剣友会)



個人戦小学3〜4年生の部 優勝・今井 陽飛(西菅田剣友会) 2位・古泉 明利(西菅田剣友会) 3位・澤井 めい(西菅田剣友会)

個人戦小学5〜6年生の部 優勝・高橋 秀誠(川崎御幸剣友会) 2位・竹下 大河(三鷹宗武館) 3位・滝澤 幸(青梅中央道場)



個人戦小学5〜6年生の部 優勝・高橋 秀誠(川崎御幸剣友会) 2位・竹下 大河(三鷹宗武館) 3位・滝澤 幸(青梅中央道場)



個人戦中学生男子の部 優勝・茂木 飛衣(西菅田剣友会) 2位・岸本 夏帆(川崎御幸剣友会) 3位・庄嶋 流美(川崎御幸剣友会)



個人戦中学生女子の部 優勝・茂木 飛衣(西菅田剣友会) 2位・岸本 夏帆(川崎御幸剣友会) 3位・庄嶋 流美(川崎御幸剣友会)

中学生団体戦は3位決定戦で小金井市剣道連盟Aと三鷹宗武館が対戦し、1-1の本数差で小金井が3位。決勝戦は青梅中央道場Aと西菅田剣友会が対戦し、代表者戦の末、青梅中央道場が優勝。第1回大会から参加している青梅中央道場が小中学生を通じ悲願の初優勝を成し遂げた。

岩手

第51回岩手県スポーツ少年団剣道大会

全国スポーツ少年団剣道交流大会の県予選として開催されました。小学生優勝チームと中学生優勝者

は、本大会への出場権を得ます。出場権をかけた熱戦が展開されました。

団体戦

優勝・北上警察署剣道 「さくら館」スポーツ少年団

個人戦小学4年生以下の部

優勝・渡邊 妃夏美(もりに)

剣道スポーツ少年団

優勝・岩館 感太郎(新明館)

個人戦小学生男子の部

優勝・岩館 感太郎(新明館) 2位・佐藤 蒼生(新明館) 3位・佐藤 蒼生(新明館)

個人戦中学生男子の部

優勝・高藤 友佳理(盛岡仙北) 2位・田村 夢奈(見前) 3位・野原 飛鳥(もりに)

個人戦中学生女子の部

優勝・高藤 友佳理(盛岡仙北) 2位・田村 夢奈(見前) 3位・野原 飛鳥(もりに)



団体戦小学生の部優勝・青梅中央道場A



団体戦小学低学年の部優勝・川崎御幸剣友会



団体戦小学高学年の部優勝・西菅田剣友会

神奈川

第92回神奈川県私立中学校剣道大会

令和7年2月16日(日) 逗子開成中学校 主催：神奈川県私立中学校体育連盟剣道専門部 資料提供：小林由貴子 (神奈川県私立中学校体育連盟剣道専門部記録)

男子1年

- 優勝・田中 誠梧(横浜中) 2位・小沢 悠一郎(桐光学園中) 3位・矢澤 駿(浅野中) 3位・小林 卓叶(東海大相模中)

女子1年

- 優勝・篠原 こね(東海大相模中) 2位・橋高 わかな(東海大相模中) 3位・鈴木 志歩(東海大相模中) 3位・天野 里彩(東海大相模中)

男子2年

- 優勝・大石 翔(東海大相模中) 2位・渡邊 桜輔(東海大相模中) 3位・篠原 颯介(東海大相模中) 3位・原田 章登(横浜中)

女子2年

- 優勝・坂井 柚月(日本大学中) 2位・大谷 凜(山手学院中) 3位・細川 真央(横浜隼人中) 3位・椎野 昂(青学英和中)

男子3年

- 優勝・小林 直央(東海大相模中) 2位・山田 泰成(桐光学園中) 3位・久保田 惇司(東海大相模中) 3位・水谷 康希(東海大相模中)

女子3年

- 優勝・翁 欣渝(山手学院中) 2位・小林 舞桜(桐光学園中) 3位・徳田 咲希(法政第二中) 3位・鎌田 紗英(関東学院中)



女子各部優勝者



男子各部優勝者



団体戦優勝・北上警察署剣道さくら館



個人戦小学4年生以下上位入賞者



個人戦小学5〜6年生上位入賞者



個人戦中学生男子上位入賞者



個人戦中学生女子上位入賞者

出場者募集 第18回 全国各流居合道 さくらんぼ大会

期日 令和7年6月22日(日)
8時50分開会

会場 山形県村山市民体育館

主催 村山市

種目 段別対抗個人試合(男女オープン、初段～七段)、居合道個人演武(三段以上七段まで)、居合道模範演武(八段以上)、居合道特別講習会(前日21日の13時～17時)

参加料 1名につき3500円(講習会の受講料は3000円)

締め切り 令和7年4月18日(金)必着

問い合わせ・申し込み先
大会実行委員会事務局
(村山市教育委員会生涯学習課内)
電話 0237-55-2111

メール
manabi@city.murayama.lg.jp



中学女子優勝・磐田東



高校女子優勝・守谷



中学男女混合優勝・神戸



高校男子優勝・磐田東

のまま一本勝ちで勝負は代表戦へ。代表戦には両チーム共に大将の内田(磐田東)、北田(日体大桜華)が選出された。2度目の延長開始直

後たまたもや、内田が跳び込みメンを一本にし、磐田東の優勝となった。○**中学男女混合**
先鋒は高島(神戸中・三重)が先



男子高校生の部



男子二段以上の部



女子の部



「剣道の美とはなにか、審判審査 剣道形演武の三位一体で上達する」をテーマに、寒気の真つ盛りのなか、105名が気迫満点の試合を繰り広げました。

高校男子の部は4人リーグで熱戦を展開、試合を堪能できました。女子の部は、高校生と成人有段高段者を交えてリーグ戦からトーナメントへ。獨協埼玉高の優勝者小玉選手と第3位會根田選手は、成人選手に一步も引かずメン技、ドウ技を繰り出し、試合場狭しの攻防の末、入賞の榮譽を飾りました。

男子初段以下の部は、3人リーグ2ブロックのトーナメント。

決勝トーナメントは凄まじい気迫と鋭い打ち込みのメン技で大阪から参加した林選手が優勝を手にしました。男子二段以上は3人リーグ戦を2ブロックで展開後、トーナメント戦へ。リーグはどの部門も2分3本勝負。トーナメントは2分1本勝負。決勝戦のみ延長後は時間無制限一本勝負。決勝戦に近づくにつれて試合は白熱し、腕の振り、手の内のすばらしい技の冴えとバランスの良い足の踏み込みに応援する人、見守る人にも心洗われるものがありました。静岡から参加の祁答院恵教士七段と久保晋子五段の試合審判運び、打

突姿勢は高段位をめざすものに学ぶ姿がありました。

男子二段以上出場選手の醍醐味ある技量と共に、参加83名の若さと気迫と練達の域をめざす剣道家の姿に、剣道歴71年足立区剣道連盟最古参加教士七段・正木正紀審判長からも賞賛の声が上がっています。

6月1日には東京武道館にて3人制の大会を開催予定。3団体のリーグからトーナメント戦を行ない、9月7日の東京都体育館でも同様の大会を開催します。

東京

東京スポーツ祭典 剣道交流個人戦剣道大会

令和7年2月9日(日) 東京武道館
主催 新日本スポーツ連盟
資料提供 角田範夫(大会委員長)
宮内泰明(事務局)

取。次鋒、中堅と引き分けて副将戦。相コテメンを中尾(神戸中)が決め、その後メンを追加。ここで

勝負は決まった。しかし松本(磐田東)も試合終盤ひきメンで一本勝ちし意地を見せた。全体を通して磐

田東の果敢な攻めに対して神戸中が冷静に要所で技を繰り出し確実に勝利をものにしました。



女子の部優勝・高砂中
女子の部2位
久御山・大蔵中



男子の部2位・久御山中



男子の部優勝・大蔵中

愛知

令和6年度 中京大学剣聖旗 第14回全国選抜高等学校剣道大会 第13回全国選抜中学校剣道大会

令和7年2月9日(日)
スカイホール豊田メインホール
主催 中京大学剣友会
資料提供 下村直樹(剣聖旗実行委員会)

全国各地から精鋭が集まり、高等学校の部では男子72チーム、女子は54チーム、中学の部では、男子59チーム、女子28チーム。選手合計約千五百名が集い、熱戦が繰り広げられた。

前日の8日(土)には、同会場で開催式が行なわれた。開

会式では白石裕章剣友会会長(中京大学剣道部監督)の挨拶の後、中京大学剣道部師範堀山健治八段による講話があった。パンフレットの「道心」という表題について触れ、選手たちに対する励ましのこ

も大会がスタートした。なおこの大会は、中京大学剣友会が主催となり、学生、OBたちが中心となり、大会運営のすべてを行っている。

来年度は2月第1・2週、2月7日(土)に錬成会・開会式、8日(日)は大会が同会場で開催される。大会の申し込みは、道場・中学校、高

き分け。迎えた中堅戦、山下(日体大桜華・東恩)が太田(磐田東)の手元が上がったところをコテをこらえ、一本先取る。その後太田も攻め続けたがそのまま山下の一本勝ち。取り返したい磐田東だが副将戦も引き分けに終わる。大将戦、試合開始1分のところで内田(磐田東)が跳び込みメンを先取り、そ



男子の部優勝・新潟明訓



女子の部優勝・五泉

- 男子の部**
- 優勝・新潟明訓(新潟)
 - 2位・佐久長聖(長野)
 - 3位・富山北部(富山)
 - 3位・丸岡(福井)
- 女子の部**
- 優勝・五泉(新潟)
 - 2位・富山北部(富山)
 - 3位・敦賀(福井)
 - 3位・金沢桜丘(石川)

富山

令和6年度北信越高等学校剣道新人大会 第34回庄川清流杯北信越高等学校剣道新人大会

令和7年2月1日(土)・2日(日)
砺波市庄川体育センター
主催 砺波市剣道会
資料提供 吉田真(富山県高体連剣道専門部)

- 男子の部**
- 優勝・大蔵中(兵庫)
 - 2位・久御山中(京都)
 - 3位・新東淀中(大阪)
 - 3位・吉備中(和歌山)

- 女子の部**
- 優勝・高砂中(兵庫)
 - 2位・久御山・大蔵中(京都 兵庫)
 - 3位・甲子園学院中(兵庫)
 - 3位・荒井中(兵庫)

兵庫

第32回高砂市長杯中学校剣道大会

令和7年2月15日(土)
高砂市総合体育館
資料提供 榎原一磨

等学校ともフリー参加になっており、12月以降、中京大学剣友会のHPから書類をダウンロードし、参加申し込みができるようになっていた。全国各地からの積極的な参加を広く求めている。

今年度大会結果は、次の通りである。

○高校女子

先鋒伊東(守谷・茨城)が開始直後のメンを決め、その後ひきメンを追加して二本勝ち、次鋒石田は逆ドウとコテ返しメンで勝利。中堅櫻井は上段に対しすり上げメン、ツキを決めて勝利。この時点で守谷高校の第1回大会から続く連覇が確定した。その後も副将吉村がひきメンで勝利。全体を通して守谷高校が多彩な攻めと技で、済美(岐阜)の技を封じていた。

○高校男子

先鋒松木(磐田東・静岡)が見事なコテ返しメンで一本を先取り、その一本を守る形で大将までつないだ。大将戦では藤雄(磐田東)が脇本(滋賀国スポ・滋賀)の一瞬の隙をとらえメンを決め、2度目の優勝となった。

○中学女子

先鋒、次鋒と激しい攻防の末、引き分け。迎えた中堅戦、山下(日体大桜華・東恩)が太田(磐田東)の手元が上がったところをコテをこらえ、一本先取る。その後太田も攻め続けたがそのまま山下の一本勝ち。取り返したい磐田東だが副将戦も引き分けに終わる。大将戦、試合開始1分のところで内田(磐田東)が跳び込みメンを先取り、そ